

クロステック
知々田 治
イメージコーディネーター



番組収録に Ki Pro シリーズをフル活用

使用製品



Ki Pro Ultra



Ki Pro Rack

株式会社クロステックは、テレビ朝日系列で2014年から放送している中山雅史と山崎弘也の冠番組「ゴン中山&ザキヤマのキリトルTV」の収録で合計24台のKi Proを使用した ProRes ファイル収録を行なった。ファイル収録、サルベージ、クリーニング等、高いデジタル技術を持つ同社では 2012年の創業当時から Ki Pro を導入、運用しており、2014年には Ki Pro Rack を導入、2015年にKi Pro シリーズの最新製品である Ki Pro Ultra を導入している。今回の番組収録では 上記 Ki Pro シリーズ 3機種を現場に投入して、収録を行なった。

時間短縮と品質保持のために ProRes 収録をメインに採用

これまでは収録当日に HDCAM 収録と同時デジタル化 (テープの素材を SD にしてファイル収録) を行っていたが、今回は収録日からオンエアまでの時間があまりなかったため、番組制作サイドからできるだけ早く作業を始めて、要件ギリギリまで編集を行いたいという要望があった。こういった背景から、本線もファイル収録で行うことを株式会社クロステック イメージコーディネーター 知々田 治氏は決心したという。

知々田氏「今回からファイル収録を本線として行うことにしました。Ki Pro Ultra 7台と Ki Pro Rack 5台に 本線のHD 信号を入力し、その出力を7台の Ki Pro Rack と5台の Ki Pro に入力し、内部で SD にダウンコンバートしたオフライン用途のファイル収録も同時に行ないました。念のため予備として HDCAM も回しました。3時間の素材でしたが、SD は1時間後に納品、HD は翌日には納品できました。12系統の収録でしたので、サブのレコーダーも大量に準備しました。」

収録完了後、1時間でオフライン編集がスタートでき、翌日には HD の素材がデータ化され納品されているため、収録の翌日には HD での編集が出来る。テープベースでは考えられないスピードである。

収録現場では24台全ての Ki Pro はEthernet接続されており、WEB ブラウザから各 Ki Pro 端末にアクセスし、設定が行えるようになっていた。収録にはギャングレコーディング機能を利用し、ブラウザ上でマスター機をRECスタートすると一斉に録画が開始される仕組みとなっていた。

ギャングレコーディング

有線LANを介して、複数台の Ki Proを一斉に収録の開始・停止する機能

4K 60P への対応がKi Pro Ultra 導入の決め手

知々田氏「Ki Pro Ultra 導入に至った経緯として、Ki Pro、Ki Pro Rack を採用してきた経験があります。Ki Pro を採用した一番の理由は、信頼性のあるHDDが採用されていること、専用ケースで保護されている等、メディアの安全性が保たれている点でした。HDDだと、サルベージに優位性がある、物理障害以外ではなんとかなりまし、クリーニングしていれば、フレームスキップ等の問題も避けられますので。」

「また、お客様の編集環境が Final Cut Pro だったこともあり、ProRes ファイルでの収録というのもメリットでした。頻繁なバグフィックスにも安心感を持って選択に間違いがないと思えました。他社の同様の製品と比べて、保護性能がしっかりしている部分も気に入っています。」



機材セッティング中の知々田氏

4K の要望が出始めたことで、器材選定にあたり他社の器材も検討したが、オペレーションの統一ができることを第一に考え、新たに Ki Pro Ultra を導入したとのこと。

MADI

Multichannel Audio Digital Interface の略

知々田氏「当初は、Ki Pro Quad を第一候補にしていますが、Ki Pro Quad は 4K 30P までの対応なので 60P の要望に応えられませんでした。そこで、発売直後の Ki Pro Ultra に目をつけました。Ki Pro Ultra は 4K 60P に対応しており、この点が導入の決め手となりました。現在、Ki Pro Ultra とその他の Ki Pro シリーズでは新機能の追加などもあったりで、オペレーションに多少の違いはありますが、今後のファームウェアアップデートで解消されると思っています。オーディオは、AES/EBU が D-Sub 25pin になったことで、当初考えていた MADI との融合にも拍車がかかると期待しています。」

SSD 化によりコピー作業が高速化、モニターでイメージを確認できることも好評

Pak Media

AJA CION, Ki Pro Ultra, Ki Pro Quad 専用のSSDメディア。容量は1TB (Pak 1000)、512GB (Pak 512)、256GB (Pak 256)モデルが用意されている。<http://www.aja-jp.com/products/kipro/ki-pro-media>

昨年末の導入から毎週のように Ki Pro Ultra が撮影現場で活用されている。当初は収録メディアを SSD (Pak Media)にすることで故障時のデータサルベージに時間と費用が掛かる、静電気対策など、HDDと比べた面で不安要素もあったようだが、現在までトラブルなく運用できているとのこと。

知々田氏「収録メディアを SSD 化したことにより、コピー時間が従来よりも短縮されたこと、モニターが搭載されたことにより確認が容易になったことなど、現場からの評価も好評です。今後は、音と映像のデータ収録を容易に行えるワークフローの確立や、現在行っているインターネット中継との融合を考えています。これからもトラブルフリーな収録環境、収録方法の確立を目指します。」

「ゴン中山&ザキヤマのキリトルTV」

サッカー界からゴン中山、お笑い界からザキヤマをキリトリ、最強タッグでお送りするスポーツ&エンターテインメントショー!! 世の中の、ある一部分に注目すると発見と感動が!!

番組ホームページ：<http://www.tv-asahi.co.jp/kiritortv/>



株式会社アスク メディア&エンタープライズ事業部

102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル11F

Tel : 03-6913-9600 / Fax : 03-6913-9590

Web : www.ask-media.jp Mail : info@ask-media.jp